

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」
～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

学校は勉強をするところ - 基礎学力の保証 -

- 認めて、ほめて、伸ばす指導
- 習得型の授業（読み、書き(漢字)、算(計算)は、学校で習得させる。）
- ユニバーサルデザインの考えを取り入れた授業
- 日々の実践に役立つ研修（算数を窓口。基礎学力向上、特別支援教育の視点から）

＜本年度の学力向上策＞

- 1 特別支援教育、算数を中心に、講師を依頼した校内研修会を10回以上実施
- 2 研究テーマに基づき、各学年1回以上の研究授業を実施
- 3 学年等での共同研究により、先行授業、代替授業、模擬授業を含め、一人1回以上、授業実践(授業方法)を提案し、教職員間で共有
- 4 「よい授業分析シート」について、原則「算数」で実施し、各自の課題となる因子について改善
- 5 春岡スタンダードの実践
 - ・教室環境、掲示、マス黒板、ノートの使い方等、本校で積み上げてきた実践をスタンダードとして共有し、全教員が実施。
- 6 パワーアップタイム（朝の学習）、夏季休業日の算数教室等による学習の補完
- 7 先輩教師の知恵（指導技術等）の伝承
 - ・専門教科、得意な分野を、校内の教職員が研修講師となって指導・伝達する「春岡ゼミナール（春ゼミ）」の開催
 - ・初任者等、経験の浅い教員を対象に、校長が直接指導する「藤田塾（放課後勉強会）」の開催

＜本年度の振り返り＞

【成果】

- 算数「知識・理解、技能」の習得率は、全学年概ね85%を達成した。
- 全国学力学習状況調査において、前年度と比較し、良好な結果を得た。
- 7つの学力向上策は実施できた。（特に、日々の実践に役立つ研修が充実）
 - ・学校独自で講師を依頼した研修を、年間12回実施
 - ・かがやき学級を含む、全ての学年で「算数」の研究授業を実施
 - ・放課後「校内自主研修会」が立ち上がるなど、指導技術の伝承の機会が増加

【今後に向けて】

- 平成31年度の市教委指定「特別支援教育」の研究発表をよい機会と捉え、「ユニバーサルデザイン」の考えを取り入れた授業を一層充実していく。